卒業論文

和菓子屋の社会学

——小郡名菓を作る 3 人の職人の語りから——

2016 年度入学

九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2020 年 1 月　提出

要約

近年、和菓子業界は大きく変化している。本研究は、和菓子屋を取り巻く環境の変化、菓子製造小売業が減少していること、地域での和菓子屋の役割について調査した。福岡県小郡市の御菓子処やかべ、志波まんじゅう、天本菓子店の 3 店を調査対象とした。

第 1 章では、本研究の背景や目的について述べている。

第 2 章では、日本における和菓子の消費行動や、小規模和菓子屋に注目した環境の変化、和菓子の歴史について先行研究を整理した。

第 3 章では、和菓子の中でもより地域の特徴を表す「地域名菓／地域銘菓」の定義と「郷土菓子」の定義について述べた。

第 4 章では、御菓子処やかべ、志波まんじゅう、天本菓子店への調査の分析を行った。和菓子屋が地域で担っている役割と、菓子の表現の関係が明らかになった。また、各和菓子屋が目指している姿を「地域名菓／地域銘菓」と「郷土菓子」の 2 つに分類を行った。

第 5 章では、第 4 章で分析した結果について考察した。3 店の役割の違いと原点について考察し、「共同菓子」という定義を提案した。

目次

1.　はじめに……1
2.　日本における和菓子業の動向……2
2.1　原材料から見る和菓子の消費活動……2
2.2　現在の和菓子業界について……7
2.3　和菓子のはじまり……8
3.　郷土菓子の成り立ちとその役割……17
3.1　地域名菓／地域銘菓とは……17
3.2　和菓子が表す行事文化について……19
4.　店主の語り……21
4.1　調査概要と分析方法……21
4.2　和菓子屋店主……25
4.2.1　店主になるまで……25
4.2.2　地域コミュニティでの役割……27
4.2.3　客とのかかわり……29
4.3　和菓子の役割……32
4.3.1　店主が菓子に込めるもの……32
4.3.2　表現物としての菓子……35
4.4　小括……38
5　考察……40
5.1　志波まんじゅうの菓子の行方……40
5.2　郷土菓子と共同菓子……41
5.3　和菓子屋のこれから……42
参考文献……43